

■著者紹介

浪花 健三（なにわ けんぞう）

1985年 税理士登録

2003～2008年 香川大学法学部教授

2008～2014年 立命館大学法学部教授

2014～2019年 桜山女学園大学現代マネジメント学部教授

2000～2022年 大阪商業大学商学部、龍谷大学法学部、京都女子大学法学部において
非常勤講師

2021～2024年 大阪経済大学経営学部客員教授

現在 浪花健三税理士事務所 税理士

法学修士（京都大学）、経営学修士（滋賀大学）

[主要著書・論文]

●共著書

岡村忠生編著『租税回避研究の展開と課題』ミネルヴァ書房、2015年

記念論文集刊行委員会編『行政と国民の権利』（水野武夫先生古稀記念論集）法律文化社、

2011年

『税法学』（創立60周年記念号）日本税法学会、2011年

三木義一ほか編『税法判例分析ファイル I【第2版】』税務経理協会、2009年

三木義一ほか編『演習ノート租税法〔補訂版〕』法学書院、2008年

日本租税理論学会編『消費税法施行10年』（租税理論研究叢書10）法律文化社、2000年

●論文

「ドイツ税理士法における損害賠償保険の強制加入について」龍谷法学58巻1号、2025年

「ドイツ税理士試験免除についての一考察」龍谷法学57巻2号、2024年

「『税務代理』の性格と問題点」龍谷法学57巻1号、2024年

「ドイツ税理士法における自由専門職性」税法学第591号、日本税法学会、2024年

「税理士の『登録』と『登録抹消』に係る考察」龍谷法学54巻4号、2022年

「税理士による『租税教室』」社会とマネジメント14巻、桜山女学園大学現代マネジメン
ト学部紀要、2017年